



こんにちは

村田けい子です

2017
9.15
№ 119

みなさんのご意見・ご要望をお寄せ下さい。フェイスブックやっています。

発行/日本共産党立科町議会議員 村田桂子 立科町塩沢1483 ☎0267(56)2868

【6月議会の議案審査から】社会文教建設常任委員会で審議。

福祉医療費窓口負担が500円だけに。来年8月1日から

立科町福祉医療費の支給に関する条例の一部改正で、来年8月1日から、医療費の支払いが原則1医療機関につき500円で済む様になります。病院と薬局に行くと1,000円となります。しかしこれまでの様にいったん3割分を払うことはなくなるので、負担は断然軽くなります。皆さんの願いと運動が国を動かしました。

- 1、対象者 0～18才 916名
 - ・0～就学前 261人
 - ・就学児童から18歳まで 655人
 働いている人も医療費は無料になります。



- 2、長野県としては、小中学生の入院だけを対象にしているの、通院分と、高校生の医療費分は町独自の無料制度となっています。

- 3、国のペナルティ* 5百万円減額
国は窓口を無料にする制度にすることによって、医療に係る人が増える事を理由に、本来交付しなければいけない金額を減らしています。予想として500万円見込んでいます。

これにより、月に何回行っても、同じ病院であれば、500円で済みます。しかし兄弟など、かかる人が変われば支払うことになります。また総合病院などでかかる診療科目ごとに500円掛かります。風邪などで、内科、耳鼻科とかかるとそれだけで1,000円です。兄弟がいればその分の負担は大変です。

今度はこの自己負担金を無くすような運動がひつようではないでしょうか。私が住んでいた神奈川県では自己負担金を無くすように運動がありました。

*国のペナルティ・・・本来ならば、各自治体が住民の要求にこたえて努力しているのですから、褒められたいしやるべきなのに、ペナルティとは、嫌がらせとしか思えません。理由は、「独自の無料制度を実施する余裕があるので、交付金を減らしてもよい」というものです。

アメリカには、負担義務のない予算を1893億円(2017年)、「思いやり」と称して負担しています。思いやる相手が違いますよね。

町民のシーズン料金 2万円に —スキー場の料金改定—

町のスキー場の経営状況を改善すべく、この度、ゴンドラリフトの料金改定が提案されています。

①「共通2日券」の新設。1日券、1.5日券に加え、2つのスキー場を体験してもらえるように「共通」券を発行すること。1日分を2日買うより、1割引きとなっています。

②ファミリー券の新設。大人と子供の人数により、4タイプが設定されています。

③1日券の料金改定・・・近隣のスキー場に習い少し値上げ。

④町民の優待料金 1シーズン2万円に大幅に引き下げ。(これまでは 3.9万円) 高校生は1万円に。町所有のスキー場なので、多くの町民に親しんで利用してもらいたいという思いからです。
1日券は1,000円(2,500円)、休日は2,000円。



ヤマカガシの
災難



車で走っていると、道路上に何やら黒いものが。紐かなと思ってよく見てみると、蛇！道路を渡るときに車にひかれたのでしょうか。少しケガをしているようです。

「死んでいるのかな」と近寄り、尻尾をちょっと触ってみると口を開けて威嚇します。最後の力を振り絞っているようです。このまま置いておくと、又ひかれてしまいます。棒を拾ってそっと持ち上げ、近くの草むらに移動し横たえてあげました。

【議案審査より】

①、一般会計補正予算より H28年度の決算が終わり、繰越金が確定したことで、合計6億1000万円の繰越となりました。これにより、基金残高は16億2161万円(決算年度末現在高)。他の基金を含めると、40億円を超える基金があります。



③、電算共同化について「H24年度の電算の現状経費」が水増しされており、したがって町の負担金が高く設定されていた問題で、町は「共同化」に参加することを延期しています。7月24日の幹事会でも「この5年間で正確な負担金の計算をしてほしい」旨を発言していますが、いまだに経費が示されていないということです。H30年度後半には現在参加している14団体が後期の5年間に参加するかどうかを判明するため、町も後半に参加するかどうか決めるとしています。今のうちにきちっと負担金の計算しなおしを示すべきと求め続けていますが、いまだに示されません。

こんないい加減な「電算共同化」の負担金を、言うなりに払うべきでしょうか。売木村も接続の延期を決めたそうです。



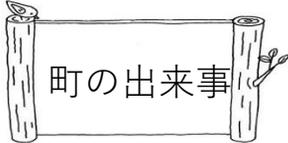
②、町の財政は…極めて健全！国の指標は実質公債費比率が25以上になると財政に黄色信号がとまり、国の指導が必要になりますが、町の実質公債費比率(借金返しの割合)は5.8であり、健全そのものです。

(実際はH25年度から川西保健衛生組合の清掃費を持つことになる当番となっており、その経費が交付税措置されることから公債費の比率が低くなります。川西分を除いた実質公債費比率でも8%台となっており、極めて健全財政と言えます)

④、佐久広域消防救急デジタル無線の設備工事が談合されていたことが発覚。ペナルティとして入札業者から請負代金の2割に当たる総額6億円をこえる賠償金が命じられ、佐久広域連合に1億2660万円が戻ります。



⑤、立科町芦田出身の方から寄付金…芦田出身のS夫妻の遺産として、5,000万円が寄付されました。後見人の方からの申し出だそうです。ふるさとを思う気持ちは本当にありがたいですね。



古町の秋祭り

9月9・10日 蓼科神社本殿、古町公民館前

古町の「獅子舞」一度は見なくては、とさっそく夜の8時半に合わせて出かけました。3人の子どもたちが手作りの獅子頭をかぶり、太鼓と笛、三味線、謡の囃子(はやし)に合わせて踊りを見ました。腰に下げた鉦(かね)をたたきながら素朴な旋律に合わせて舞います。「五穀豊穰、無病息災」を祈る真剣さが伝わる踊りでした。獅子舞と聞いていましたが、思っていたのとは違い、奉納舞というところでしょうか。30分にも及ぶ踊りで、小学校6年生から中学生が一所懸命に踊っていました。信州の三頭獅子(みがしらじし)として無形文化財に指定されているそうです。

桐原、藤沢、戸倉の獅子踊りとともに、地区の保存会のみなさんと子供たちによって傳承されているそうです。

また昼間は古町公民館前で行われている本祭りの奉納の獅子舞と謡(うたい)とお囃子を聴かせてもらいました。江戸時代の被り物をかぶった紋付羽織、袴のお役目の姿や金糸の豪華な刺繍で彩られた幕など見どころ満載でした。皆さんお疲れ様でした。



金糸で刺しゅうされた獅子



豪華な刺繍で彩られた山車、町内を練り歩く。



江戸時代の被り物をかぶったお役目の方